

総監修の言葉



東京大学大学院医学系研究科附属 医学教育国際研究センター 教授 北村 聖

「研修医のための診察手順」と題したビジュアルプログラム (DVD) の総監修をすることになった。これは、同じく丸善出版から発行されている「研修医のための基本技能」という全25巻にも及ぶビジュアルプログラムの姉妹編である。「研修医のための基本技能」は、卒後臨床研修の必修化に伴い、スーパーローテイトの間に必要となるであろう基本的手技を網羅する目的で発行された。多くの研修医が単なる知識の獲得だけでなく、この期間にできるだけ多くの手技を学びたいという要望に応じて上梓したもので、幸い多くの研修医や研修指導者から好評を博した。

今回の「研修医のための診察手順」は基本的な診察技能を身に付けたいという、主訴と病歴、さらに身体診察を通して、どのような疾患を考え、どのような検査計画を立てるのかといった、臨床推論 Clinical Reasoning が示されている。鑑別診断の書籍は多くあるものの、実際の病歴、身体所見の動画から鑑別診断を考えるものはほ

とんどなく、ビジュアルプログラムとしては極めてユニークなものになっている。副題に総合診療医への第一歩とあるように、このたび整備される専門医制度の最大の特徴である総合診療医という専門医を目指すような臨床医を対象と考えている。大学病院など専門性の高い病院ではすでに診断がついていたり検査結果が分かっている症例が多いが、総合診療医は病歴と身体診察から疾患を絞り込む能力のトレーニングが求められる。総合診療医の修練において、すべて実際の患者で経験することができれば学習効果が高いが必ずしも、都合よく患者がいるわけではない。このグラムのようなビジュアル教育教材により、より効率的に臨床推論が学べるようになるものと思われる。このDVDは総合診療医を目指す医師はもとより、First-touchで患者を診る医師全てにとって必見のDVDであるという過言ではないと思う。改めて各技能の監修・指導に当たられた先生方のご努力に深甚の敬意を払うとともに、心からの感謝の意を表したい。

研修医のための診察手順

総合診療医への第一歩

全10巻

総監修 北村 聖 東京大学大学院医学系研究科附属 医学教育国際研究センター 教授
大滝 純司 北海道大学 医学教育推進センター 教授 / 東京医科大学病院 総合診療科 兼任教授



関連商品のご案内

新医師臨床研修制度対応 ビジュアルプログラム 研修医のための基本技能

各巻 約30分 | 全25巻 |
セット 本体価格750,000円+税 各巻 本体価格30,000円+税

各巻タイトル

NEW 第1巻 改訂版 心肺蘇生法(緊急救命処置)※ / 第2巻 医療面接の基本(含:精神科面接) / 第3巻 頭頸部の診察 / 第4巻 胸部の診察(呼吸器・循環器) / 第5巻 腹部の診察(付:胃管挿入) / 第6巻 四肢の診察(含:血圧測定) / 第7巻 神経学的診察[1] / 第8巻 神経学的診察[2] / 第9巻 泌尿・生殖器の診察、直腸診、乳房の診察 / 第10巻 小児の診察 / 第11巻 産婦人科診察法と妊娠の管理 / 第12巻 分娩・新生児の診察と管理 / 第13巻 精神科疾患の診断と治療計画 / 第14巻 サイコセラピーと薬物療法 / 第15巻 臨床検査[1] / 第16巻 臨床検査[2](含:画像診断) / 第17巻 採血・注射 / 第18巻 末梢静脈路と中心静脈路の確保 / 第19巻 導尿・尿道留置カテーテル・膀胱穿刺 / 第20巻 腰椎穿刺・脳波・筋電図 / 第21巻 血算・血液像 骨髄穿刺、鏡検による骨髄所見 / 第22巻 外傷初期診察 / 第23巻 胸腔穿刺・胸腔ドレナージ・腹腔穿刺 / 第24巻 創傷と熱傷の処置(含:止血・縫合法) / 第25巻 脱臼・骨折

※第1巻 改訂版 心肺蘇生法は2013年12月に発行しました。

総監修 高久 史麿 自治医科大学 学長
総監修協力 北村 聖 東京大学大学院医学系研究科附属 医学教育国際研究センター 教授
大滝 純司 北海道大学大学院医学研究科 医学教育推進センター 教授

後期研修で修得が最も困難とされる診察手順を、第一線で活躍する臨床医が懇切丁寧に指導・解説する、他に類のないDVDプログラム!

患者の呈する症状と身体所見に基づき、鑑別診断、初期治療を的確に行う能力を獲得する。

発行: 丸善出版株式会社 映像メディア部
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17 神田神保町ビル 6F
TEL 03-3512-3252 FAX 03-3512-3271
http://pub.maruzen.co.jp/

お問い合わせ・ご注文は下記までお願いします。

各巻 約30分 | 全10巻セット 本体価格300,000円+税 各巻 本体価格30,000円+税
制作・著作: 丸善出版株式会社

研修医のための診察手順 総合診療医への第一歩 全10巻

全巻収録特典映像 17分 ※PDF資料付き
『入院時スクリーニング診察の手順』



修得困難とされる鑑別診断の進め方を余すことなく解説!

1 発熱の診かた 26分

発熱の基本的な診察手技をリアルタイムで供覧した後に、主な診察手技でどのような疾患を疑うか、疑わしい場合に注目すべき所見にはどのようなものがあるかを解説します。

監修 大浦 純司 北海道大学 医学教育推進センター 教授
東京医科大学病院 総合診療科 兼任教授



2 頭痛の診かた 31分

頭痛の診察では、病歴の聴取が最も重要です。頭痛の部位・性状とともに、一般内科診察と神経学的診察を組み合わせ、疾患の鑑別を進めていきます。

監修 大生 定義 立教学院診療所 所長 / 横浜市立大学 医学部 臨床教授
山口 滋紀 横浜市立市民病院 神経内科部長



3 めまいの診かた 33分

「めまい」には耳に原因がある末梢性めまい、脳に原因がある中枢性めまい、血圧に原因がある立ちくらみがあります。なかでも最も頻度の高い、末梢性めまいの良性発作性頭位めまい症(BPPV)を中心に解説します。

監修 大生 定義 立教学院診療所 所長 / 横浜市立大学 医学部 臨床教授
城倉 健 横浜市立脳血管医療センター 神経内科部長



4 悪心・嘔吐の診かた 31分

悪心・嘔吐は、救急外来や一般内科外来でよく遭遇する訴えの一つであり、その原因は多種多様で、診断には詳細な病歴聴取が重要ですが、中枢神経系の病変、内分泌学的緊急症など緊急の対応を要する疾患も含まれます。診察の流れに沿って解説します。

監修 小山 弘 国立病院機構京都医療センター 診療部長・総合内科科長
大倉 敬之 国立病院機構京都医療センター 総合内科



5 胸痛の診かた 27分

胸痛の診察では、まず、緊急性のある急性冠症候群、急性大動脈解離、肺塞栓症を除外し、ついで一時的な狭心症発作、食道破裂、Mallory-Weiss症候群、発熱・咳嗽・喀痰を主訴とする胸痛、呼吸にとまなう胸痛、心雑音が手がかかりとなる胸痛、消化器系疾患由来の胸痛、胸壁由来の胸痛などについて診察します。

監修 平山 陽示 東京医科大学病院 総合診療科 臨床教授



6 動悸の診かた 24分

動悸の診かたでは、まず心原性の動悸を見つけ、緊急性の有無を評価します。次に比較的頻度の高い、甲状腺機能亢進症と貧血を見逃さず、それぞれ緊急性の有無を評価します。また、精神的な要因による動悸も多いことを忘れてはなりません。

監修 平山 陽示 東京医科大学病院 総合診療科 臨床教授



7 咳・痰の診かた 24分

咳嗽患者に対する診察における身体診察は、幅広く全身に及びます。また、時間とともに急速に変化することが少なくありません。鑑別すべき疾患とそれを示唆する異常所見を想定しながら、丁寧に診察します。

監修 川島 篤志 市立福知山市民病院 研究研修センター長・総合内科 医長
片岡 祐 市立福知山市民病院 総合内科



8 呼吸困難の診かた 30分

呼吸困難を診る際には、低酸素血症をきたす、心臓や肺の疾患の有無の評価だけでなく、気道や胸郭の異常、体位による変化、呼吸中枢に影響する病態にも注意する必要があります。また心因的な背景も考慮した診察態度が医療者には求められます。

監修 川島 篤志 市立福知山市民病院 研究研修センター長・総合内科 医長
片岡 祐 市立福知山市民病院 総合内科



9 腹痛の診かた 30分

腹痛は、救急外来や一般内科外来でもっとも多い主訴(しゅそ)の一つであり、その原因は多種多様で、診断には詳細な病歴聴取が非常に重要です。視診、聴診、打診、叩打痛、触診、直腸診、その他の部位の診察と順を追って解説します。

監修 小山 弘 国立病院機構京都医療センター 診療部長・総合内科科長
大倉 敬之 国立病院機構京都医療センター 総合内科



10 腰痛の診かた 29分

腰痛患者の診察ポイントについて、入室時の姿勢、レッドフラッグ(赤旗兆候)、原因疾患と身体所見、反射の覚えかたの順で解説します。要諦は、まず問診でレッドフラッグがないかを確認して重大疾患を否定すること、下肢神経症状の有無を確認することです。

監修 仲田 和正 西伊豆病院 院長

